置き配バッグ配布事業
アンケート結果報告書



環境部環境政策課

令和6年（2024年）6月

八王子市



概要

市内在住の希望者（申込者）に置き配バッグを10,000個配布し、当選者に対して置き配バッグの活用についてアンケートを実施した。

申込受付期間　：令和5年（2023年）10月1日から
令和5年（2023年）10月31日まで

申込者数　：　15,191人

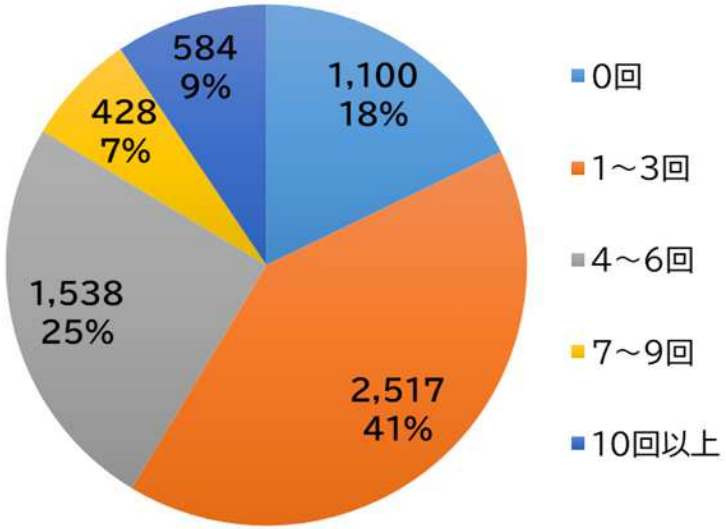
アンケート実施期間　：　令和6年（2024年）2月22日から
令和6年（2024年）3月7日まで

アンケート対象人数（当選者）　：　10,000人

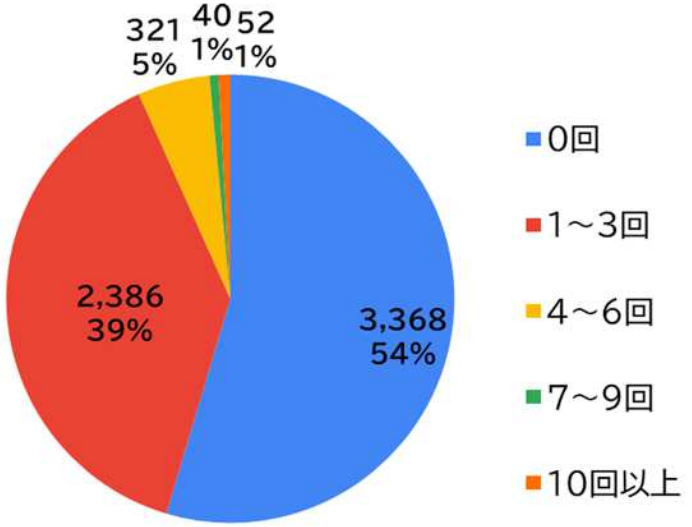
回答数　：　6,167件（回答率：61.67％）

アンケート結果

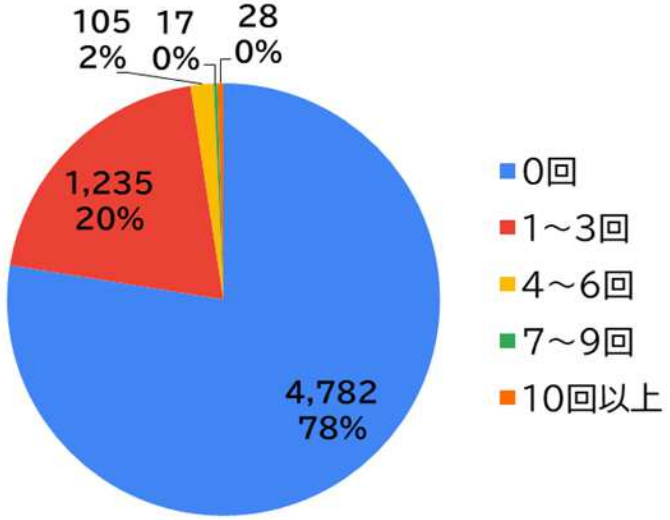
質問1 直近1か月の間に宅配便を利用した回数（置き配バッグ配布後）



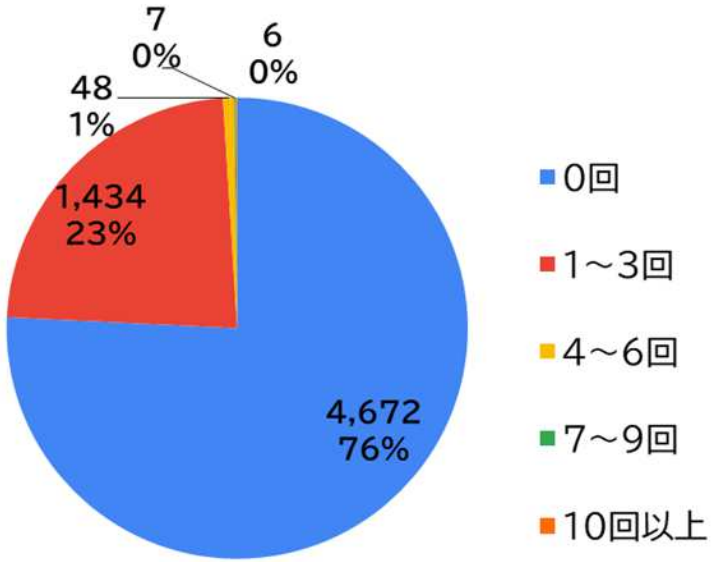
質問2 直近1か月の間に置き配バッグを利用した回数



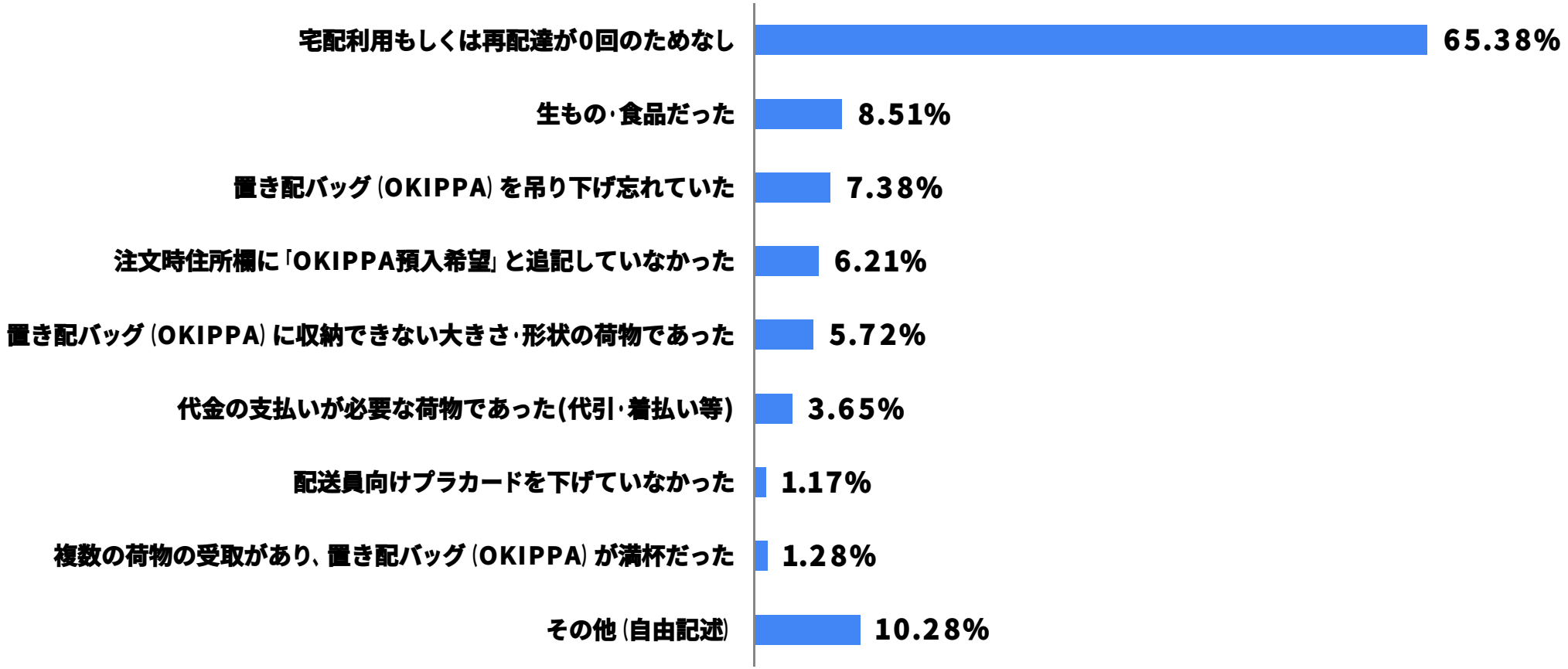
質問3 直近1か月の間に、**在宅中**に置き配バッグを利用した回数



質問4 直近1か月の間に再配達となった回数



質問5　質問4で再配達になった理由をすべて教えてください（複数選択可）

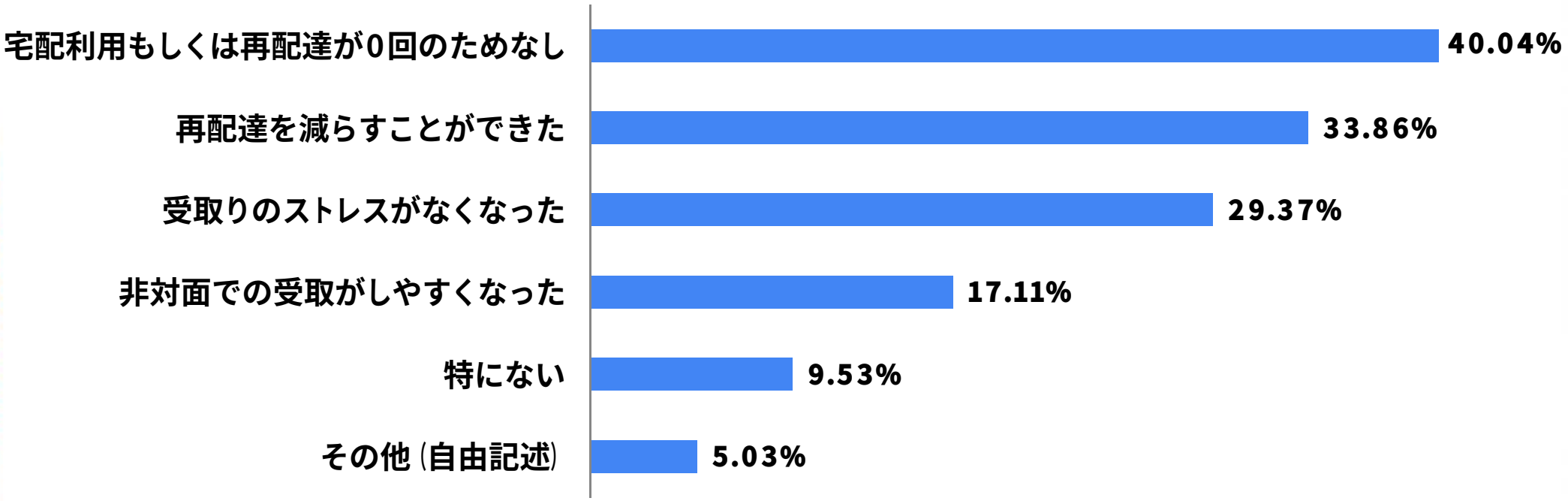


その他の理由（抜粋）

・宅配業者より手渡しを希望されたため。

・置き配バッグは常に設置しているが、使ってもらえないことが何度かあった。

質問6　置き配バッグ（OKIPPA）を利用してよかった点（複数選択可）

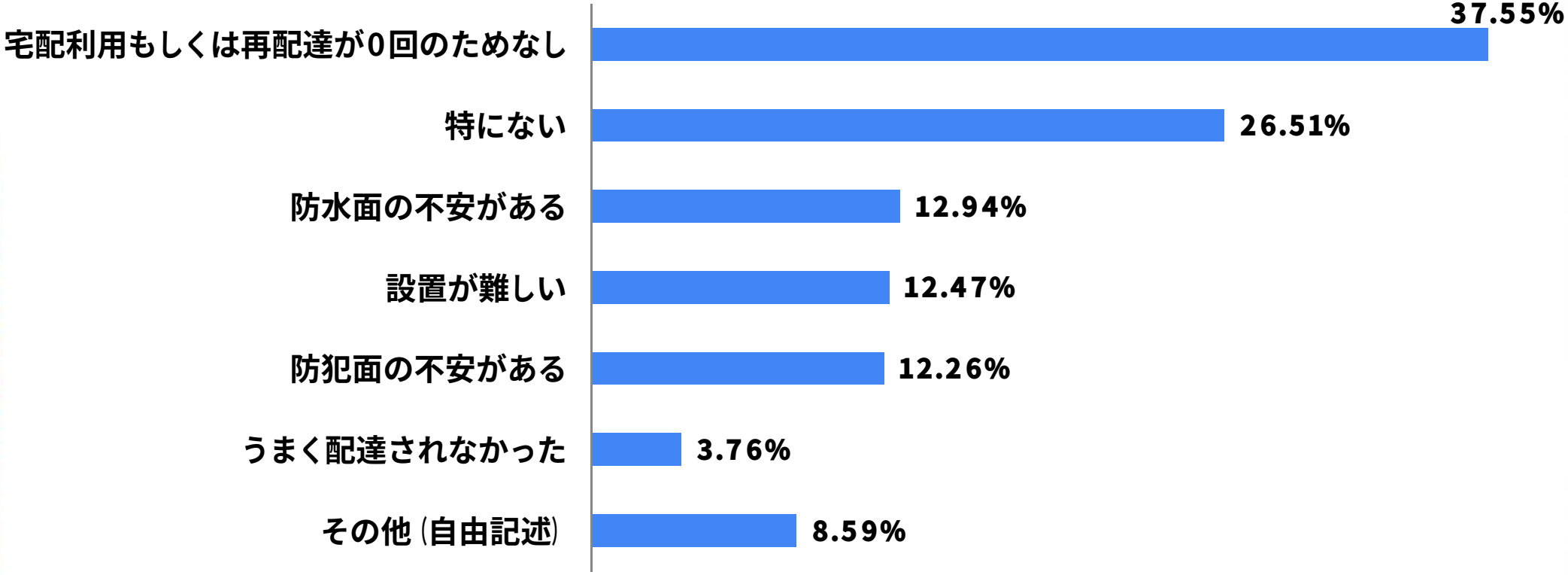


その他の理由（抜粋）

・置き配バッグがあることで、気兼ねなく出掛けられ、ストレスフリーになった。

・置き配バッグを利用して、再配達を利用しなくなった。

質問7　置き配バッグ（OKIPPA）を利用して悪かった点（複数選択可）



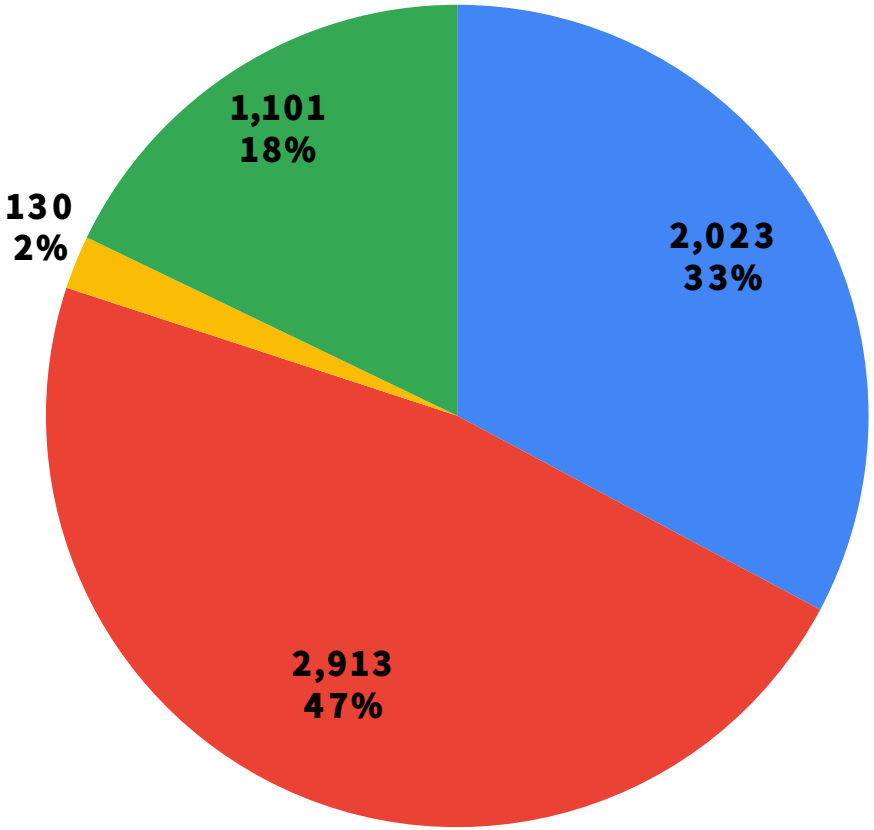
その他の理由（抜粋）

・利用したが結局やり方がわからず対面で受け取る形式が多かった。

・置き配バッグに入れず床に直置きされてしまう時がある。

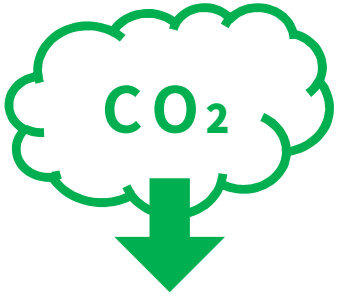
質問8

置き配バッグ（OKIPPA）の活用による再配達削減を通じて、地球温暖化対策への意識の変化はありましたか



- 意識が変わったため、今後も積極的に置き配バッグ等を使用するとともに地球温暖化対策につながるその他行動も行っていきたい
- 意識が変わったため、今後も積極的に置き配バッグ等を使用していきたい
- 意識は変わったが、行動を変えるつもりはない
- 特に変わらない

置き配バッグ配布後の再配達削減効果

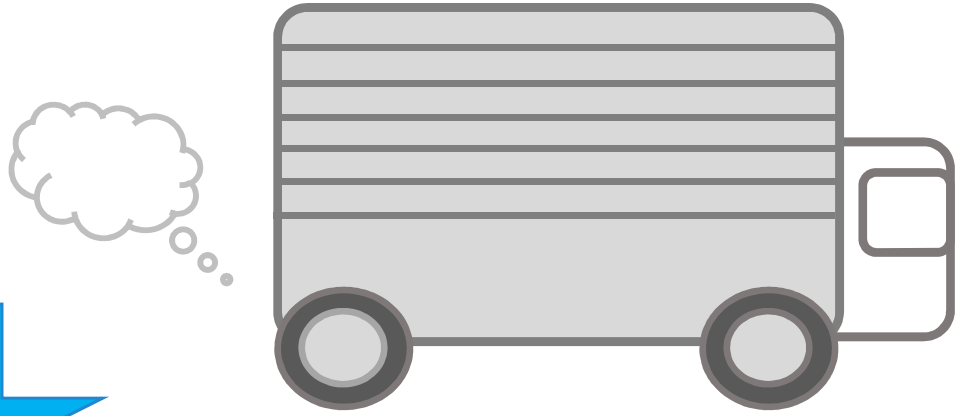


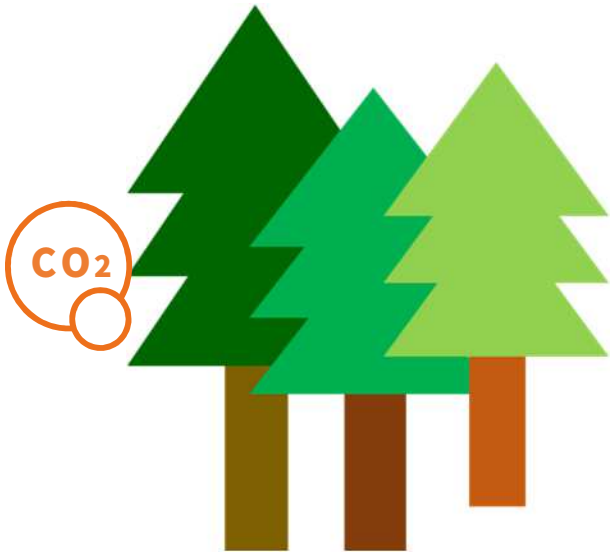
再配達　72.51%※　削減

※ 削減率は置き配バッグ配布前と配布後の再配達の回数（試算値）から試算した値です。時間指定の活用等他の要因の影響も含みます。

輸送による二酸化炭素排出量

約6,462kg-CO2削減





杉の木が1年間に吸収する

二酸化炭素量　約734本分に相当